

三河商人道

PART
219

水鳥 隆章 君

青年部とは 真剣に学べる場



【会社・仕事への思い】

父親が立ち上げた水鳥商会も創業 50 年になろうとしています。私は、2 代目として、高校卒業してから入社しましたが、それまでバイト感覚で仕事を手伝っていました。一度は外で仕事を学びながらと思っていたけれど、卒業と同時に入社しました。早くから仕事に出たことで、仕事やお客様の事を覚えることができ、よかったと思っています。

今も、父親が立ち上げたこの会社を父親以上にしていこう！という思いで日々、仕事に取り組んでいます。

【青年部に入会されたきっかけ】

江山先輩のお父さんから入会を誘われ、入会しました。当時の水越委員長との交流委員会に配属になり、良いメンバーに囲まれ持病の痛風と共に青年部生活がスタートしました。

【思い出に残る青年部活動】

30 周年の周年事業に副会長として携われたことが一番の思い出です。それまでの間に委員長を受けたり東海ブロック大会岡崎大会などもありましたが、周年事業の担当副会長として深く関わったことが印象に残っています。そして、何より担当した綱領指針で世紀の大失敗をしてしまったこと。いまだに言われます!!

【青年部とは・・・】

「真剣に学べる場」

青年部では、真剣に怒られることがあります。青年部では、真剣に議論を交わすことがあります。40 歳を超えて入会した青年部では、会社の代表として事業を営んでいる身でありながら、真剣に怒られました。そして、青年部には真剣にものを言い合える。そんな先輩、後輩、仲間がいました。社会に出てから、そんな場は青年部以外に知りませんでした。青年部で学んだ事は、何事にも代えがたい財産です。



取材担当/
広報委員会
杉山宗利、永田昌巳、
神尾尚宏、柴田法昭、
福田智士、松本展和、
山本創、永井絢子